

# 令和4年度 一番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

## 1. 摘採日

本 年	前 年	前4か年平均
5月 1日	4月 25日	4月 27日

## 2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前4か年平均	
収 量	指 数	収 量	指 数	収 量	指 数
580.9 ± 108.0	105 (112)	518.9 ± 30.4	93	555.1 ± 37.0	100

注) 指数は、前4か年平均を100とした値であり、本年の下段括弧内の値は前年比を示す

## 3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前4か年平均	
重 量	指 数	重 量	指 数	重 量	指 数
67.1 ± 10.0	90 (94)	71.2 ± 3.3	96	74.3 ± 5.5	100

## 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

本 年		前 年		前4か年平均	
芽 数	指 数	芽 数	指 数	芽 数	指 数
1116 ± 259	90 (102)	1100 ± 35	89	1234 ± 113	100

## 5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前4か年平均
26.2 ± 15.4	25.7 ± 8.2	29.2 ± 5.8

## 6. 作況調査園の概要

- 1) 摘採日は、5月1日で前年より6日、前4か年平均より4日遅かった。
- 2) 本年の生葉収量は581kg/10aで、前年より12%、前4か年平均より5%多かった。百芽重は67.1gで、前年より6%、前4か年平均より10%少なかった。1m<sup>2</sup>当たりの新芽数は1116本で、前年より2%多く、前4か年平均より10%少なかった。出開き度は26.2%で、前年より0.5%高く、前4か年平均より3.0%低かった。

## 7. 本県の概要

現場における新芽の生育は、前年と比べて1週間程度遅く、特に早生品種は10日程度遅かった。4月上旬の低温により一部で霜害、4月25日および29日の強風により被覆資材のあおりによる風傷が生じた。

病害虫は、特にカンザワハダニの発生が多く、その他にチャトゲコナジラミやマダラカサハラハムシの発生がみられた。

(参考)

気象概況 (2022年1月上旬～4月下旬、嬉野市)

観測点：嬉野アメダスポイント

